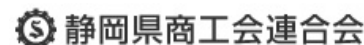


News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和 2 年 5 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このため令和 2 年 5 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 2 年 5 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【大型連休に関連した受注機会の減少により景況感を押し下げた】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-61.0（前月-58.6、前年同月-5.4）で、前月比 2.4pt 悪化した。緊急事態宣言後に一部のサービス業で客足が若干戻った事業所も見られたが、総じて新型コロナウイルスの影響で大型連休中も外出自粛や休業要請により需要の改善が見られず、全体的な業況を押し下げる結果となった。

【製造業】

業況は-54.9（前月-51.0、前年同月-7.8）と前月に比べ 3.9pt 悪化した。前月に引き続き、新型コロナウイルスの影響により取引先の休業や生産調整により、受注が減少している。また、4 月まで影響がなかった事業所も 5 月に入り受注減少してきており、業況を押し下げた。

【建設業】

業況は-58.8（前月-58.8、前年同月 14.7）と前月に比べ変動なしとなった。依然、資材の供給が遅れており、工事の延期・現場作業停止が発生している。今後に関しても新規案件の受注が減少傾向であり、対応に苦慮する状況が続くものと思われる。

【小売業】

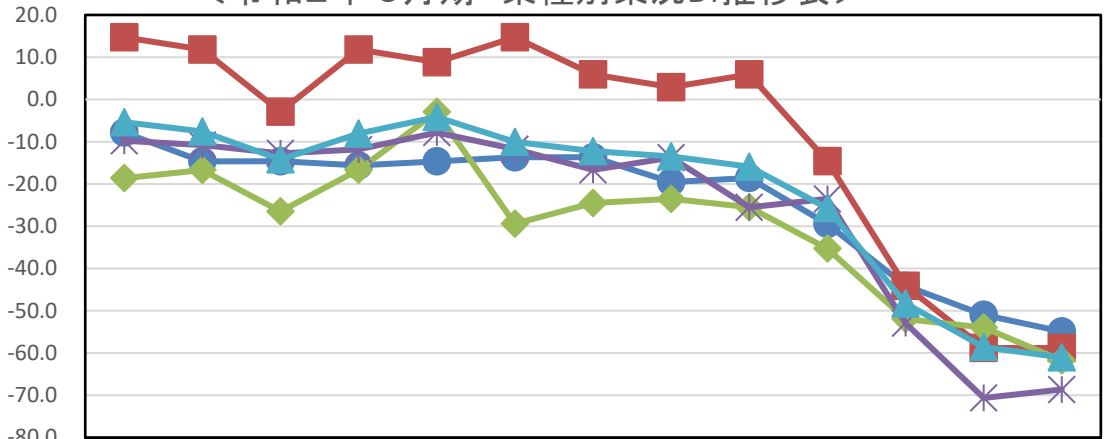
業況は-61.8（前月-54.0、前年同月-18.6）と前月に比べ 7.8pt 悪化した。大型連休中の外出自粛要請の影響もあり、食料品関連で売上の減少幅が大きく採算も悪化した。また、衣料品は一部季節商品の需要が見られたものの消費者の買い控えが継続されている。

【サービス業】

業況は-68.6（前月-70.6、前年同月-9.8）と前月に比べ 2.0pt 好転した。旅館業では休業要請により繁忙期である大型連休中の売上が無かったが緊急事態宣言解除後に一部観光客の利用が見られた。理美容業においても少しではあるが来店者が見受けられ、業況が改善された。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：戸塚〕

＜令和2年 5月期 業種別業況DI推移表＞



	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5
DI値(製造業)	-7.8	-14.7	-14.6	-15.6	-14.7	-13.7	-13.7	-19.6	-18.6	-29.5	-44.1	-51.0	-54.9
DI値(建設業)	14.7	11.8	-2.9	11.8	8.8	14.7	5.9	2.9	5.9	-14.6	-44.1	-58.8	-58.8
DI値(小売業)	-18.6	-16.7	-26.5	-16.7	-2.9	-29.4	-24.5	-23.5	-25.5	-35.3	-52.0	-54.0	-61.8
DI値(サービス業)	-9.8	-10.8	-12.8	-11.8	-7.8	-11.8	-16.7	-13.8	-25.5	-23.5	-52.9	-70.6	-68.6
DI値(全業種平均)	-5.4	-7.6	-14.2	-8.1	-4.2	-10.1	-12.3	-13.5	-15.9	-25.7	-48.3	-58.6	-61.0

＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食料品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・5月になり、(機械・金属業) 製造数減少、売上状況は悪化。大手との取引を行っている事業所については50%減の所も有。(伊豆)
- ・金属加工業では4月まで影響がなかった事業所も、5月になって急激に受注が減り、来月以降の見通しがたたない。(富士駿東)
- ・自動車関連業において減収減益の模様。製品はコストダウンを求められている。また、コロナの影響により生産量、勤務時間が減少している。(中部)
- ・機械金属系はコロナの影響で取引先休業や生産調整により受注が減少している。(中東遠)
- ・繊維業者において年内生産が全く見えない。(西遠)

【建設業】

- ・コロナの影響で予定していた工事の先送りがあり、見通しが暗い状況。5月中旬過ぎより、景気が落ちている。(伊豆)
- ・コロナの影響で総じてよくない。新築物件の見合わせなど仕事は減少している。(富士駿東)
- ・コロナの影響により建設現場が作業停止したことで売り上げが減少傾向にある。(中部)
- ・引き続き工事の延期などコロナの影響を受けている状況である。(中東遠)
- ・コロナの影響で5月の仕事量が減少している。材料の輸入が止まっている。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業)

- ・衣料品は季節商品の需要が一部で見られた。しかし小売全体としては自粛による休業事業所も多く、営業していても消費者側が「巣ごもり」により来店されない状況である。(伊豆)
- ・コロナ関連で大型スーパーに買い物客が流れる傾向であり小規模は厳しい状況。(富士駿東)
- ・食料品関連では、大型連休中の自粛要請の影響もあり、減少傾向である。(中部)
- ・衣料品は引き続き消費者の買い控えが伺え、業況は悪化。(中東遠)
- ・新聞配達業にて新聞自体の売上は変わらないがチラシの折込みが通常時より30%減となった。(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・旅館業では多くが休業要請により、繁忙期であったGWの売上が無くなった。緊急事態宣言解除後に一部観光客利用がみられたが、例年の客足には戻っていない状況である。(伊豆)
- ・クリーニング業において各種行事の中止(特に児童の行事)の影響を受け売上減少した事業者もでている。(富士駿東)
- ・サービス業は徐々に回復している。(中部)
- ・理美容では当地区では休業要請業種ではなかったが、コロナの風評被害で来店者が減少。一部の店では一日の来店者数を制限し対応していた店もあった。(中東遠)
- ・旅館業にて休業要請により売上が60%減少、宴会の予約が無い為、仕出し、弁当を販売しているが売上が伸びない状況である。(西遠)

小規模企業景気動向調査(令和2年5月末)

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-58.8	-55.9	悪化
売上	-52.9	-61.7	増加
仕入単価	-2.9	-11.7	上昇
採算	-55.1	-49.9	悪化
資金繰り	-58.9	-64.7	好転

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-32.4	-26.5	悪化
売上	-26.5	-23.6	減少
仕入単価	3	3	不変
採算	-23.5	-14.8	悪化
資金繰り	-20.5	-17.7	悪化

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-73.5	-70.5	悪化
売上	-73.5	-61.8	減少
仕入単価	-3	-8.8	上昇
採算	-67.7	-52.9	悪化
資金繰り	-70.6	-67.6	悪化

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-58.8	-58.8	不変
売上	-50	-44.1	減少
仕入単価	5.9	-2.9	上昇
採算	-50.1	-50.1	不変
資金繰り	-55.8	-58.8	好転

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-82.4	-73.6	悪化
売上	-73.6	-76.4	増加
仕入単価	-8.8	-5.9	低下
採算	-67.6	-64.7	悪化
資金繰り	-79.4	-73.6	悪化

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-44.1	-26.5	悪化
売上	-35.3	-8.9	減少
仕入単価	3	17.6	低下
採算	-47.1	-29.5	悪化
資金繰り	-47	-35.4	悪化

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-58.8	-61.8	好転
売上	-58.8	-55.8	減少
仕入単価	0	3	低下
採算	-47	-47.1	好転
資金繰り	-50	-55.9	好転

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-67.6	-67.7	好転
売上	-64.6	-67.7	増加
仕入単価	-8.9	-20.7	上昇
採算	-64.7	-64.8	好転
資金繰り	-67.6	-67.7	好転

9.洗濯業

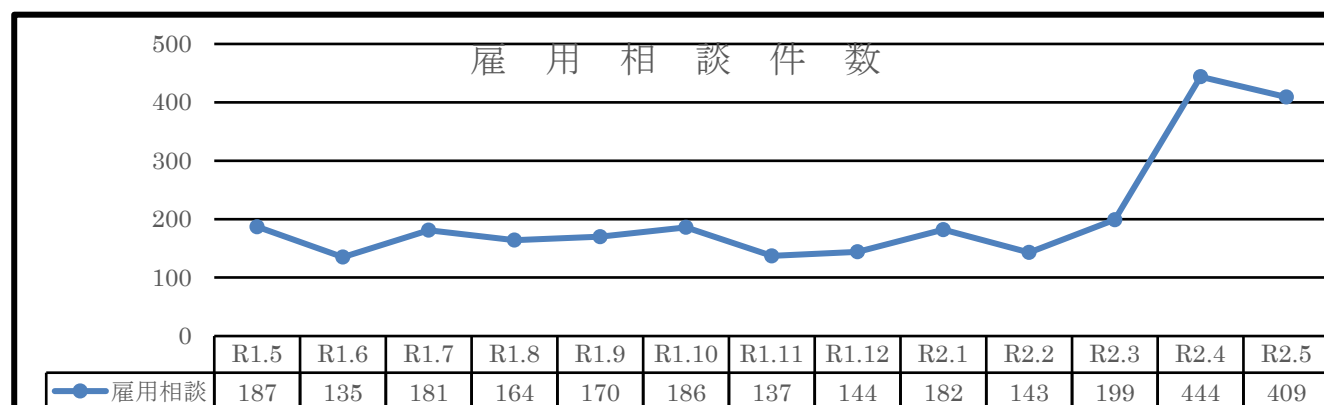
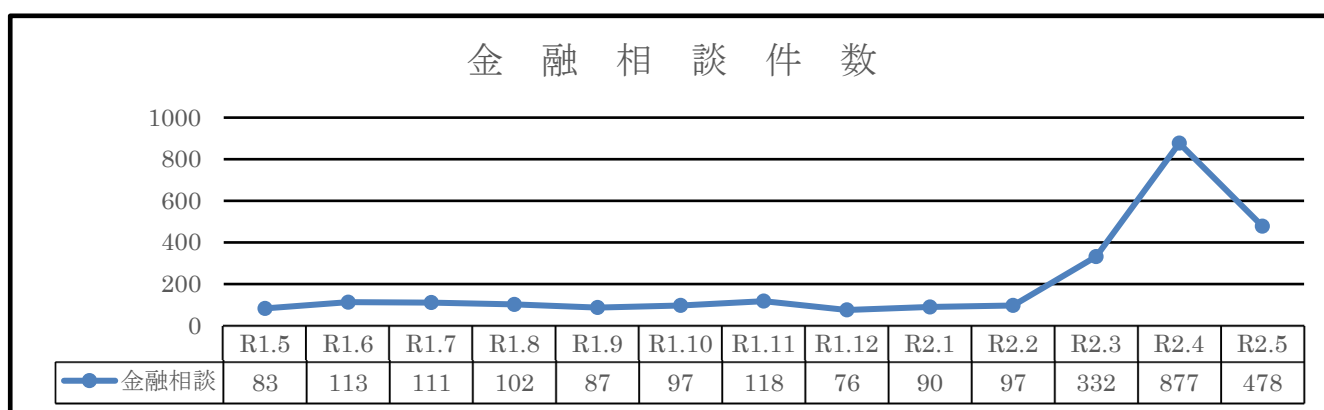
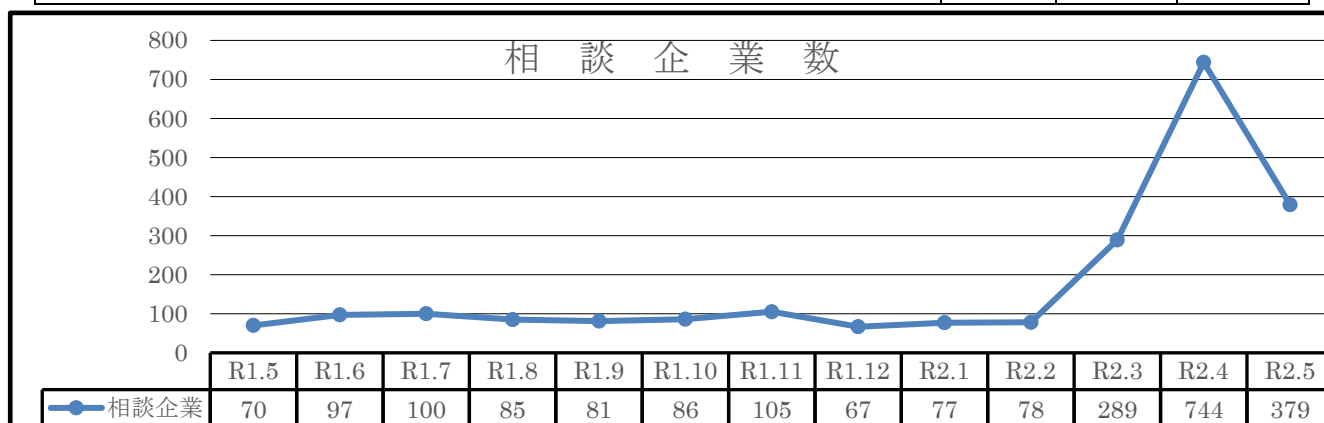
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-67.7	-64.7	悪化
売上	-70.6	-67.7	減少
仕入単価	-2.9	-5.9	上昇
採算	-55.9	-50.1	悪化
資金繰り	-58.8	-55.9	悪化

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-70.6	-79.5	好転
売上	-64.7	-79.4	増加
仕入単価	-11.8	-17.7	上昇
採算	-58.8	-61.7	好転
資金繰り	-64.7	-70.6	好転

金融・雇用相談実績月次報告(令和2年5月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	379	744	-365
【金融相談件数】	478	877	-399
新規融資(借換えを除く)	295	571	-276
既存債務の借換え	140	200	-60
借入れ条件変更	1	2	-1
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	42	104	-62
【雇用相談件数】	409	444	-35



【金融相談】

金融相談件数は、478件と前月(877件)に比べ399件減少したものの、依然、新型コロナウイルスの影響による融資相談は多く、相談者は新規借入者が増加しているが全体として4月に比べ、落ち着いてきた。また、持続化給付金関連の相談が多くなっている。

<経営指導員コメント>

- ・コロナ特別貸付、コロナマル経の斡旋指導を実施したが早めに金融相談会を実施していたため5月は近隣に比べると相談件数は少なくなってきた。(伊豆)
- ・コロナ関連の影響による資金繰りの相談は落ち着いてきた。給付金関連の相談は増加。(富士駿東)
- ・新型コロナの影響による運転資金(借換)はやや落ち着いた印象がある。(中部)
- ・国や市の給付金に関する問い合わせが多い。(中東遠)
- ・新型コロナの影響による相談が増加しているが、借り換えの相談以上に新規借入相談が増加傾向にある。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、409件と前月(444件)に比べ35件減少した。コロナウイルスの影響により、従業員を休業せざるを得ない状況の事業者が多く、雇用調整助成金に対する相談が多い状況である。

<経営指導員コメント>

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で雇用調整助成金に関する相談が多い。(伊豆)
- ・外国人技能実習監理事業を行っているものの、実習予定者の入国制限、実習受入企業の減産などへの対応が複雑化している。(富士駿東)
- ・雇用調整助成金に関する相談が増えている。(中部)
- ・求人募集は減少している。雇用調整助成金テレワーク助成金に関する相談が多数あり、社労士による無料相談会を定期的に開催している。(中東遠)
- ・ハローワークが混雑しているためか雇用調整助成金に関する相談が増加傾向にある。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・コロナウイルスの影響により、町が主催するイベントは9月まですべて中止となり、5月中に10月町民体育大会、12月富士マラソンフェスタも中止が決定した。(小山町)
- ・8月までのイベントはすべて中止が決定しており、9月以降の人が集まるイベントについても見通しが立っていない。(沼津市)
- ・富士市独自に、前年同期比で売上30%以上減の月がある事業者への給付金、プレミアム付き商品券事業、新型コロナ対応ワンストップ経営相談窓口設置を行う。(富士市)
- ・7月から市の補助金を受けて市内商工会議所と協力しながらプレミアム商品券による消費喚起を行う。(大井川)
- ・テイクアウトチラシの作成、会員事業所への買い物券配布を実施した。(掛川みなみ)
- ・市内商工会議所と商工会にて店のテイクアウト・デリバリー商品、暮らしに役立つ商品・サービスなどを提供しているお店や企業を紹介するWEBサイトを立ち上げた。(浅羽町)
- ・市内観光施設や市営駐車場の閉鎖・時間短縮を行っている。(5月31日に大半が解除)
(新居町)